

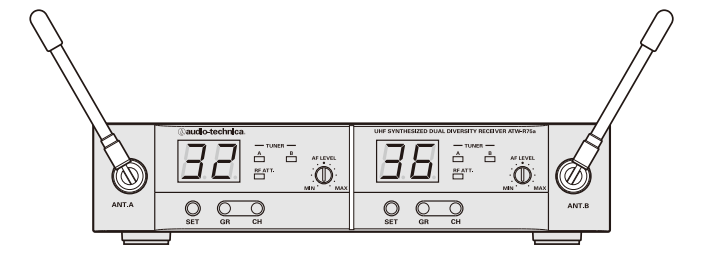
取扱説明書

audio-technica

UHF ワイヤレスレシーバー

ATW-R75a

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。



- 高性能かつコンパクトなハーフサイズレシーバー
- 高効率受信のフロントアンテナ採用で移動、設置が簡単
- AF レベルコントローラーで、音声出力レベルを可変
- ミュート（受信感度切り換え）スイッチで外部からの混信、干渉を低減

※本製品を運用するには当社 UHF ワイヤレスマイクロホン（別売）との組み合わせが必要です。
対応製品については当社のホームページをご覧ください。

内容物を確認する

本製品をご使用になる前に、下記内容物がすべてそろっていることを確認してください。万一、内容物に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社窓口までご連絡ください。

- UHFワイヤレスレシーバー ×1
- ACアダプター ×1
- 1/4λアンテナ ×2
- 接続ケーブル(5m)
RCAピンプラグ ⇄ φ6.3mmモノラル標準プラグ(L型) ×2
- 取扱説明書(本書)
- 保証書

安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起ることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

 警告	
●付属のACアダプター以外使用しない 故障、不具合の原因になります。	●分解や改造はしない 感電、故障や火災の原因になります。
●本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない 感電、故障や火災の原因になります。	●強い衝撃を与えない 感電、故障や火災の原因になります。
●同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない 事故や火災の原因になります。	●濡れた手で触れない 感電やけがの原因になります。
●異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない 異常に気づいたら、お買い上げの販売店が当社窓口修理を依頼してください。	●水をかけない 感電、故障や火災の原因になります。
	●布などで覆わない 過熱による火災やけがの原因になります。

 注意	
●不安定な場所に設置しない 転倒などによりけがや故障の原因になります。	●ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない 変形、故障の原因になります。
●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない 故障、不具合の原因になります。	●密閉された狭い場所や熱がこもる場所には置かない 変形、故障の原因になります。
●火気に近づけない 変形、故障の原因になります。	

ACアダプターについて

 警告	
●AC100V以外の電源には使用しない (日本国内専用) 過熱による火災など事故の原因になります。	●コードの上に物を置いたり、数物や家具などの下に入れたりしない 断線、故障の原因になります。
●本製品以外には使用しない 過熱による火災など事故の原因になります。	●分解や改造はしない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
●異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない 異常に気づいたらすぐに使用を中止して、コンセントから抜きお買い上げの販売店が当社窓口ご連絡してください。 そのまま使用すると、火災など事故の原因になります。	●強い衝撃を与えない 感電によるけがや、火災など事故の原因になります。
●コードは伸ばして使用する。釘などでの固定や、束ねたままでの使用はしない 過熱による火災など事故の原因になります。	●濡れた手で触れない 感電によるけがの恐れがあります。
●コンセントや本体にプラグを差し込むときは根元まで確実に差し込む 過熱による火災など事故の原因になります。	●布などで覆わない 過熱による火災など事故の原因になります。
●コードを引っ張らず、プラグを持ってまっすぐ抜き差しする 断線、故障の原因になります。	●プラグにたまったほこりなどは乾いた布で定期的に拭き取る 過熱による火災など事故の原因になります。
	●ペンジン、シンナー、接点復活剤など薬品は使用しない 変形、故障の原因になります。

 注意	
●長時間使用しないときは、コンセントから抜く 省エネルギーにご配慮ください。	●通電中のACアダプターに長時間触れない 低温やけどの原因になることがあります。
●足に引っかかりやすい場所にコードを引き回さない 故障や事故の原因になります。	

使用上の注意

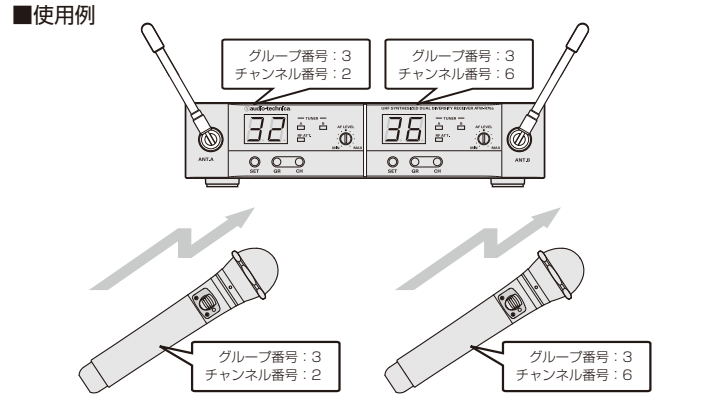
- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 本製品は電波法に準拠して製造した日本国内専用モデルです。海外の法律には適合していません。海外で使用するると各国の法律により処罰されることがあります。海外では使用しないでください。
- 本製品は雑音電波の少ない800MHz帯域を使用していますが、携帯電話、蛍光灯、OA 機器、大型の金属物、大型モニター機やデジタル回路内蔵機器などの影響をごくまれに受けることがあります。その場合は、影響を受けない位置まで離してください。

ワイヤレスシステムについて

※当社 UHF ワイヤレスマイクロホン（別売）の取扱説明書も併せてお読みください。
※本製品は UHF ワイヤレスマイクロホン 2 本の同時使用が可能です。

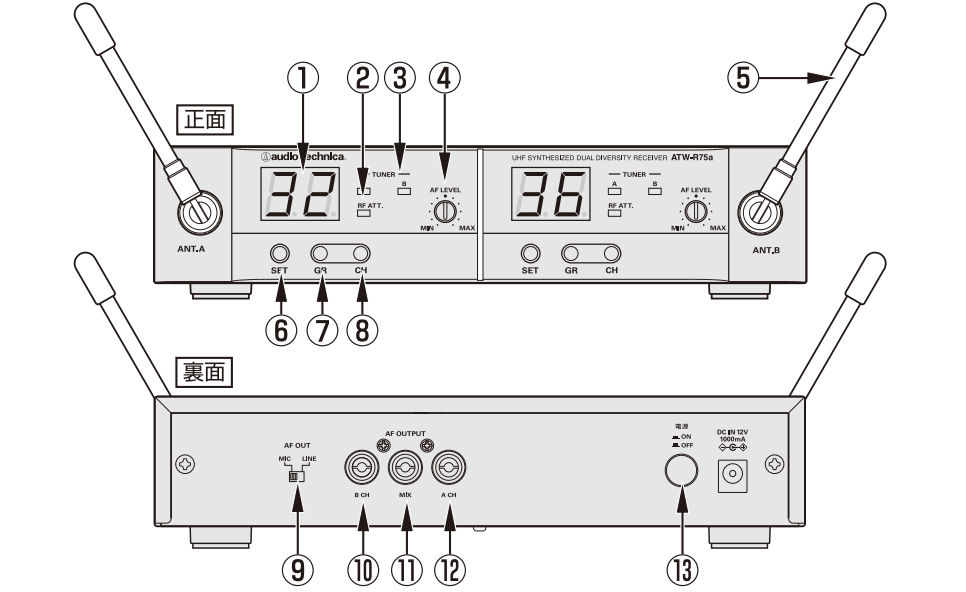
- グループ / チャンネル表の内、任意の 2 チャンネルを選択可能です。
本製品のチャンネル A と B を同時使用する際は、同一グループ内の異なるチャンネルに設定してください。
- 本製品とマイクロホンのグループ / チャンネル番号を同一に設定してください。

※チャンネル A と B を使用する場合、チャンネル A は B よりも小さい数字にしてください。
チャンネル A のほうが B よりも数字が大きい場合、ノイズが発生することがあります。
※チャンネル A と B を同一チャンネルに設定すると、誤動作や雑音を発生する恐れがあります。
※周波数が異なっているても、ほかのグループと併用すると干渉を起こす場合があります。



※マイクロホン同士、また本製品とマイクロホンは 1m 以上離して使用してください。
誤動作や雑音が発生する恐れがあります。
※周辺にテレビやデジタル機器がある場合は離して使用してください。
電波の干渉やノイズの影響を受けることがあります。

各部の名称と機能



① グループ / チャンネルインジケーター
チューナーの受信周波数のグループ / チャンネル番号を表示します。

② RF ATT. インジケーター
底面のミュート（受信感度切り換え）スイッチを「入」にすると赤点灯します。

③ TUNER チャンネルインジケーター
ダイバーシティの受信状態を表示します。電波を受信すると、受信したチャンネルが緑点灯します。

④ AF LEVEL コントローラー
音声出力レベルを調整します。工場出荷時はセンターに設定されています。

⑤ アンテナ
アンテナはフレキシブルなラバー型です。設定角度は垂直、もしくは図を参考に調整してください。

⑥ SET(設定) ボタン
押すとグループ / チャンネルインジケーターが点滅し、グループ / チャンネル設定を変更できます。

⑦ GR(グループ切換) ボタン
SET(設定) ボタンを押したまま GR(グループ切換) ボタンを押すと、グループ / チャンネルインジケーターのグループ番号(左側の数字)が変わります。

⑧ CH(チャンネル切換) ボタン
SET(設定) ボタンを押したまま CH(グループ切換) ボタンを押すと、グループ / チャンネルインジケーターのチャンネル番号(右側の数字)が変わります。

⑨ AF OUT
出力端子から出力される音声レベルを切り換えます。接続する機器の入力レベルにより MIC か LINE に切り換えてください。工場出荷時は MIC に設定されています。

⑩ B 出力端子
チャンネル B の音声を出します。

⑪ MIX 出力端子
チャンネル A/B のミキシング音声を出します。接続する機器のマイク入力がある場合は、この出力端子をご使用ください。チャンネル A と B の音声と同時に出力されます。

⑫ A 出力端子
チャンネル A の音声を出します。

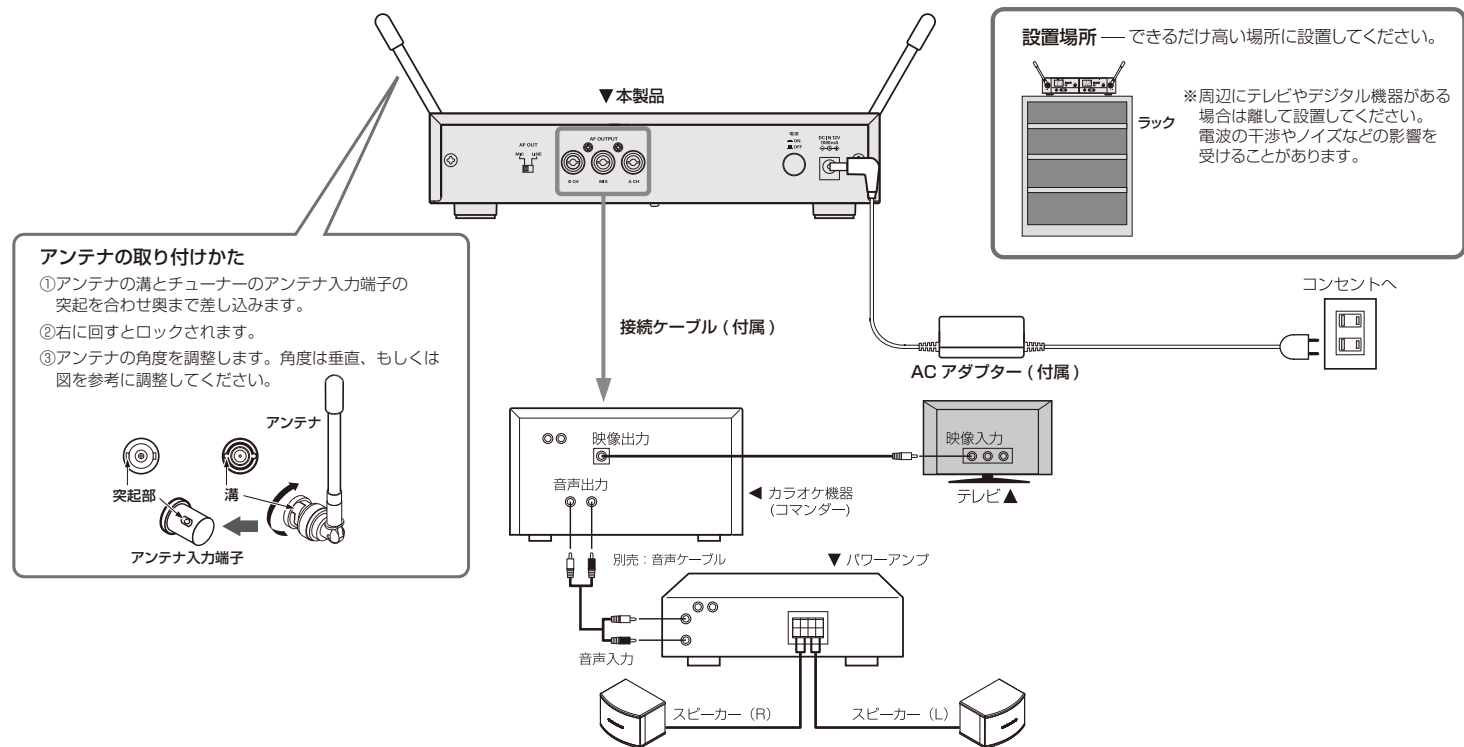
⑬ 電源スイッチ
スイッチを押すと電源が入り、グループ / チャンネルインジケーターが点灯します。

⑭ ミュート（受信感度切り換え）スイッチ
レシーバー内部に入力される電波の強さを調整して妨害電波による干渉、混信を低減します。標準→入の順に減衰量を大きくします。工場出荷時は標準に設定されています。

接続例および設置のしかた

※接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

※チャンネル A または B の出力と MIX 出力の併用はハウリングや音割れを起こすことがあります。ご注意ください。



使いかた

1 電源を入れます。

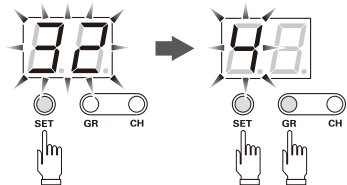


2 グループ / チャンネルを設定します。

※工場出荷時のチャンネル A は 32、チャンネル B は 36 に設定されています。
※グループ / チャンネル設定は電源プラグを抜いても、内蔵のバックアップ電池により約 10 年間保持されます。

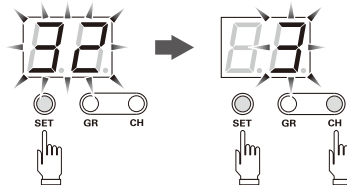
SET (設定) ボタンを押し続けるとグループ / チャンネルインジケーターが点滅します。点滅中に GR (グループ切換) ボタンまたは CH (チャンネル切換) ボタンを押して各設定を切り換えてください。

■グループの設定



*チャンネルが 1 のとき、グループ表示は 1→2→...→6→1 の順に変わります。
*チャンネルが 2～6 のとき、グループを 5 または 6 に設定するとチャンネル表示は 1 になります。
*GR (グループ切換) ボタンを長押ししても設定は切り換わりません。

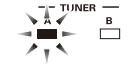
■チャンネルの設定



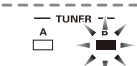
*グループが 1～4 のとき、チャンネル表示は 1→2→...→6→1 の順に変わります。
*グループが 5 のとき、チャンネル表示は 1→2→...→5→1 の順に変わります。
*グループが 6 のとき、チャンネル表示は 1 のみとなります。
*CH (チャンネル切換) ボタンを長押ししても設定は切り換わりません。

3 マイクロホンの電源を入れます。

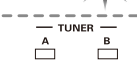
本製品の TUNER チャンネルインジケーターが緑点灯します。



TUNER A の受信状態がよく、TUNER A で受信しています。



TUNER B の受信状態がよく、TUNER B で受信しています。



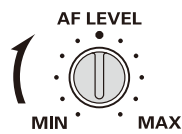
電波を受信していません。

4 AF OUTPUT から出力される音声のレベルを切り換えます。

接続する機器の入力レベルが MIC なら MIC に、LINE なら LINE に切り換えてください。

5 AF LEVEL で音量を調整します。

接続する機器に応じて調整してください。
(工場出荷時はセンターに設定されています。)



6 ご使用の環境に応じてミュート (受信感度切り換え) スwitchの設定をします。

外部からの混信や干渉を受けた場合に設定してください。
感度を下げると混信や干渉を受けにくくなります。
(工場出荷時は標準に設定されています。)

(底面)



*感度を下げるとマイクrohンの使用範囲も狭くなります。
*入のときは、フロント側の RF.ATT インジケーターが赤点灯します。

グループ / チャンネル表

連番	周波数	グループ / チャンネル番号					
		1	2	3	4	5	6
1	806.125 MHz	B 11					
2	806.250 MHz		B 21				
3	806.375 MHz	B 12					
4	806.500 MHz		B 22				
5	806.625 MHz			B 31			
6	806.750 MHz				B 41		
7	806.875 MHz			B 32			
8	807.000 MHz		B 23				
9	807.125 MHz	B 13					
10	807.250 MHz						B 61
11	807.375 MHz			B 33			
12	807.500 MHz				B 42		
13	807.625 MHz					B 51	
14	807.750 MHz	B 14					
15	807.875 MHz		B 24				
16	808.000 MHz			B 43			
17	808.125 MHz					B 52	
18	808.250 MHz			B 34			
19	808.375 MHz					B 53	
20	808.500 MHz		B 25				
21	808.625 MHz			B 35			
22	808.750 MHz					B 54	
23	808.875 MHz		B 26				
24	809.000 MHz	B 15					
25	809.125 MHz				B 44		
26	809.250 MHz			B 36			
27	809.375 MHz				B 45		
28	809.500 MHz	B 16				B 55	
29	809.625 MHz						
30	809.750 MHz				B 46		

■組み合わせ表

チャンネル / グループ	①	②	③	④	⑤	⑥
1	806.125	806.375	807.125	807.750	809.000	809.500
2	806.250	806.500	807.000	807.875	808.500	808.875
3	806.625	806.875	807.375	808.250	808.625	809.250
4	806.750	807.500	808.000	809.125	809.375	809.750
5	807.625	808.125	808.375	808.750	809.625	
6	807.250					

(単位: MHz)

本製品は B 型の周波数を使用します。

B 型のワイヤレスマイクrohンシステムの周波数割当は、全社の製品が同一と定められており、お店が隣接するような場所での使用は混信や干渉を起こす恐れがあります。混信などを起こす場合は周波数の設定を変更するか、本製品のミュート (受信感度切り換え) スwitchを「入」にしてご使用ください。

故障かな?と思ったら

以下の項目を参考にしてください。

それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店または当社窓口までお問い合わせください。

Q. 電源が入らない
A1: AC アダプターが外れていませんか?
A2: 電源スイッチがオフになっていませんか?
Q. 音が出ない
A1: 本製品とマイクrohンのグループ / チャンネル番号が一致していますか?
A2: 本製品とほかの機器が正しく接続されていますか?
A3: 本製品の AF LEVEL ボリュームを絞りにすぎいませんか?
Q. マイクrohンを2本使用するとノイズが発生する
A1: 本製品のチャンネル番号はチャンネル A と B で違う数字に設定されていますか?
A2: 本製品のグループ番号はチャンネル A と B で同じ数字に設定されていますか?
A3: 本製品のチャンネル A の数字は B より小さい数字になっていますか?
Q. 音が歪む
A: 本製品の AF LEVEL ボリュームが大きすぎませんか?
Q. 受信しない
A1: 本製品にアンテナは付いていますか?
A2: 本製品とマイクrohンのグループ / チャンネルが一致していますか?
A3: 本製品とマイクrohンが離れすぎていませんか?
A4: 本製品の TUNER チャンネルインジケーターは点灯していますか? 点灯していない場合、本製品が電波を受信していない可能性があります。 もう一度、最初から操作してください。
A5: RF ATT. インジケーターが点灯していませんか? 点灯している場合、電波を受信する範囲が狭くなっています。 底面のミュート (受信感度切り換え) スwitchを標準にしてください。

テクニカルデータ

受信方法	: トゥルーダイバーシティ
受信方式	: ダブルスーパーヘテロダイン
受信周波数	: 806.125 ~ 809.750MHz (30 波)
受信チャンネル	: B 型指定の 30 チャンネルのうち 2 チャンネル
トーン信号	: 32.768kHz
受信感度	: 15dBμV (SN 比 30dB, 1kHz, 周波数偏移 ±30kHz)
総合歪率	: 1% 以下 (60dBμV 入力, 1kHz, 周波数偏移 ±30kHz)
オーディオライン出力レベル	: -28dBV (周波数偏移 ±5kHz) ※AF LEVEL MAX 時
オーディオ出力レベル	: -36dBV (周波数偏移 ±5kHz) ※AF LEVEL MAX 時
オーディオ出力端子	: RCA ピン
アンテナ入力端子	: BNC 型 (50Ω)
RF ATT.	: 0±3dB, -3±3dB
電源	: DC12V, 1000mA (付属の AC アダプターを使用、日本国内専用)

動作温度範囲	: 5 ~ 40℃
外形寸法	: H49 × W210 × D230mm (突起物除く)
質量	: 約 1.6kg

- 付属品 : AC アダプター (AD-LL1210AR)
: 1/4 インチアンテナ (78mm) × 2
: 接続ケーブル (5m)
: RCA ピンプラグ ⇄ φ6.3mm モノラル標準プラグ (L 型) × 2
: 保証書
- 別売 : 基台アンテナ (AT8648)
(改良などのため予告なく変更することがあります。)

※修理品の送付について

修理・検査の場合、お買い上げの販売店または当社窓口へお送りください。
なお、送料はお客様ご負担とさせていただきます。
製品は輸送中の事故がないように、元通りに梱包してお送りください。

製品保証および修理などにつきましては、お買い上げの販売店または下記窓口までお問い合わせください。

株式会社 オーディオテクニカ			
【東京】	〒113-8525 東京都文京区湯島 1-8-3 テクニカハウス	☎	03(6801)2030
【名古屋】	〒461-0004 名古屋市中区栄 3-22-8 ニューザックビル 7F	☎	052(979)4706
【大阪】	〒532-0004 大阪市淀川区西宮原 2-1-3 SORA 新大阪 21 13F	☎	06(6395)5464
【福岡】	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-12-1 アリゲント 95ビル 3F	☎	092(412)7261
http://www.audio-technica.co.jp/amz			